

ご家族の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

二〇二六年の干支である「丙午（ひのえうま）」にちなんだ話題や、景気回復への願いが聞かれます。情熱と前進を象徴するこの年が新たな挑戦と成長に繋がる一年となる事が望まれています。

さて、昨年を振り返りますと、私たちの暮らしや社会を取り巻く環境は、決して平穏なものではありませんでした。全国各地で報じられた熊による事故のニュースは、自然環境の変化や人の生活圏との関係について、改めて考えさせられる出来事であったと思います。高齢者の皆様にとっても、日常の安全がいかに大切かを再確認する一年でありました。当施設においても、引き続き安全対策と危機管理に万全を期してまいります。

また、国政に目を向けますと、今後は高市早苗氏を中心とした新たな政権運営の方針が議論される中で、経済、安全保障、そして社会保障のあり方が大きな転換点を迎えるようとしています。私たち介護の現場は国の方針や制度と密接に関わっており、その動向を冷静に見守りながら、現場として何ができるかを常に考えていく必要があります。

特に、今回の介護報酬の改正は、私たちにとって非常に重要な意味を持つものですね。介護人材の不足が深刻化する中で、職員の処遇改善、働きやすい環境づくり、そしてサービスの質の維持・向上が強く求められます。今回の改定では、単なる報酬の増減だけでなく、「どのような介護を提供していくか」「地域のなかで施設がどのような役割を果たすのか」が問われています。私たちは、制度に振り回されるのではなく、制度を正しく理解しその中で最大限ご利用者様の生活の質を高める努力を続けていかなければなりません。同時に職員一人ひとりが誇りとやりがいを持って働ける環境を整えることが、結果としてご利用者様への良いケアに繋がると考えています。今後も職員の声に耳を傾け、チーム一丸となって取り組んでまいります。

さらに物価高騰の影響は、施設運営だけでなく、ご利用者様やご家族様の生活にも大きな負担となっています。食材費や光熱費の上昇など、厳しい状況が続く中ではありますが、無駄を省きながらも、安心と温かさのある生活環境をまもることが、私たちの責任であると考えています。

結びになります。本年も「ここで過ごせてよかった」と思っていただけける施設であり続けるために、職員一同、誠心誠意努めてまいります。皆様にとって、この一年が健康で穏やかな年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和八年

社会福祉法人 育心会  
理事長 田原法暁

1月 犀川園だより

あけましておめでとうございます



2023



こちらは、将棋対決盛り上がってました



2026年干支の制作を昨年の秋ごろから開始しました無事、素敵な午が完成しました



12月18日は急に誕生会が延期になった為レクエーションを行いました頭と体を使って、体操をしました



12月25日のホーム  
喫茶はショートケーキ  
でした 🎄  
犀川の松木果樹園の  
おおきないちごを上  
に乗せました(っ♪